

樹木用樹幹注入剤(殺虫剤)

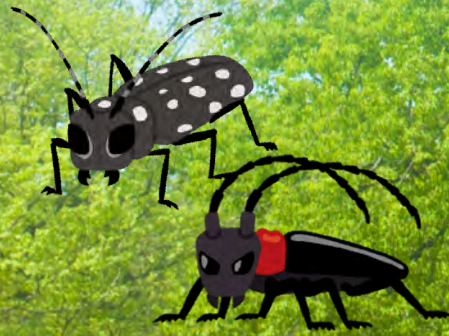


# リバイブ®

®はシンジェンタの登録商標です。

ケムシ類・クビアカツヤカミキリ・イラガ類等の  
**樹木害虫の  
総合的な防除に！**

**ツヤハダゴマダラカミキリ  
「にれ」に適用拡大！**



 **リバイブ®**

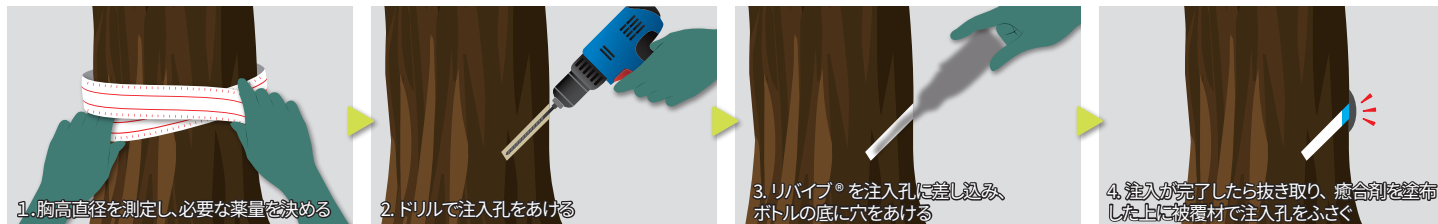
syngenta®

# 樹木用樹幹注入剤(殺虫剤)

# リバイブ®

- ◇成分：エマメクチン安息香酸塩 1.9%  
水、界面活性剤等 98.1%
- ◇人畜毒性・毒物及び劇物取扱い：非該当
- ◇包装：(20mlボトル×10本入り)×5箱

## ■ 施工手順



## ■ 適用害虫及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エマメクチン安息香酸塩を含む農薬の総使用回数			
樹木類(さくら、デイゴ、ホウオウボク、まつ(生立木)、にれを除く)	ケムシ類	樹幹部の胸高直径が11~15cmの場合は20ml、16~20cmの場合は30ml、21~25cmの場合は40ml、26~30cmの場合は50ml、30cm以上は胸高直径が5cm増すごとに10mlを増量する。	発生前~発生初期	1回	樹幹部に注入孔を明け、注入器の先端を押し込み樹幹注入する。	6回以内			
にれ	ツヤハダゴマダラカミキリ	樹幹部の胸高直径が6~10cmの場合は10~20ml、11~15cmの場合は20~40ml、16~20cmの場合は30~60ml、21~25cmの場合は40~80ml、26~30cmの場合は50~100ml、30cm以上は胸高直径が5cm増すごとに10~20mlを増量する。				1回			
さくら	ケムシ類イラガ類	樹幹部の胸高直径が6~10cmの場合は10~30ml、11~15cmの場合は20~60ml、16~20cmの場合は30~90ml、21~25cmの場合は40~120ml、26~30cmの場合は50~150ml、30cm以上は胸高直径が5cm増すごとに10~30mlを増量する。				1回			
	クビアカツヤカミキリ	樹幹部の胸高直径が6~10cmの場合は30ml、11~15cmの場合は60ml、16~20cmの場合は90ml、21~25cmの場合は120ml、26~30cmの場合は150ml、30cm以上は胸高直径が5cm増すごとに30mlを増量する。				1回			
デイゴ	ケムシ類ベニモンノメイガ	樹幹部の胸高直径が11~15cmの場合は20ml、16~20cmの場合は30ml、21~25cmの場合は40ml、26~30cmの場合は50ml、30cm以上は胸高直径が5cm増すごとに10mlを増量する。	マツノマダラカミキリ成虫発生2ヶ月前まで	1回	樹幹部に注入孔を明け、注入器の先端を押し込み樹幹注入する。	1回			
ホウオウボク	ホウオウボククチャバ	樹幹部の胸高直径が11~15cmの場合は20ml、16~20cmの場合は30ml、21~25cmの場合は40ml、26~30cmの場合は50ml、30cm以上は胸高直径が5cm増すごとに10mlを増量する。				マツノマダラカミキリ成虫発生2ヶ月前まで	1回	樹幹部に注入孔を明け、注入器の先端を押し込み樹幹注入する。	1回
	ケムシ類	樹幹部の胸高直径が11~15cmの場合は20ml、16~20cmの場合は30ml、21~25cmの場合は40ml、26~30cmの場合は50ml、30cm以上は胸高直径が5cm増すごとに10mlを増量する。							マツノマダラカミキリ成虫発生2ヶ月前まで
まつ(生立木)	マツノザイセンチュウ	樹幹部の胸高直径が11~15cmの場合は20ml、16~20cmの場合は40ml、21~25cmの場合は60ml、26~30cmの場合は80ml、30cm以上は胸高直径が5cm増すごとに20mlを増量する。	マツノマダラカミキリ成虫発生2ヶ月前まで	1回	樹幹部に注入孔を明け、注入器の先端を押し込み樹幹注入する。	1回			

## ■ 使用上の注意

【効果・薬害等の注意】●必要量を購入し、使いきってください。●他剤との混用はさけてください。●降雨時の使用は避け、できるだけ朝夕の涼しい時間帯に処理してください。●よく振ってから使用してください。●樹幹の胸高直径が6cm未満の小径木、移植後まもない木、空洞や腐朽部がある木、強剪定等で樹勢が弱った木、極端な老齢木への使用はさけてください。●本剤を挿木や剪定木、胸高直径が30cmを超える大径木に使用する場合は、葉量、木の大きさ、枝張り等を勘案して適宜増減してください。●本剤は、ドリル等で斜め下方に孔径5mm~6mm程度の注入孔を開け、薬液が形成層に触れないよう注意して注入容器のノズル先端を押し込み樹幹注入すること。注入部位は地上高30cm~1mの樹幹、孔深は5cm程度とするが、分枝、剪定枝、節、瘤等の直下からの注入は薬液の分散が悪くなるのでさけてください。但し、さくらのクビアカツヤカミキリ幼虫防除および、にれのツヤハダゴマダラカミキリ幼虫防除に使用する場合は、注入部位は地際部~1mの樹幹、孔深は5cm程度とするが、分枝、剪定枝、節、瘤等の直下からの注入は薬液の分散が悪くなるのでさけてください。●本剤を加压注入する場合は、専用の注入容器を用いてください。●注入孔が複数となる場合は、樹幹の周辺に等間隔に分散させてください。●対象木が二股以上に分かれている場合、それぞれを1本の木とみなして所定量を処理してください。●注入が終了した孔は、雨水や雑菌等の浸入およびヤニ流出を防ぐため、癒合剤や木栓等で充填して適切に処置してください。●本剤を使用する場合、以下の項目を守ってください。①発生前~発生期に時期を失ないように処理してください。②落花直後や展葉初期には薬液が分散しにくいので、葉が十分に展開してから処理してください。③花・葉・果実等を食用とする樹種には使用しないでください。④開花期の使用はさけてください。⑤さくらのクビアカツヤカミキリ幼虫防除およびにれのツヤハダゴマダラカミキリ幼虫防除に使用する場合、既にクビアカツヤカミキリ幼虫が樹幹内部に広範囲にわたって発生していたり、また、食害による被害が多数発生している樹木では、防除効果が劣る可能性があるため、幼虫発生前~幼虫発生初期での処理をすることが望ましいです。●ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱およびその周辺にかけないようしてください。●本剤は自動車、壁等の塗装面、大理石や御影石等に薬液が付着すると変色をおそれるので、ご注意ください。

●本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は、林業関係機関、林業技術者、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、林業関係機関、林業技術者、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。●さくら(ケムシ類)については、使用量の下限値の倍量以上(但し、使用量の上限値以内)を処理することで、処理後2年間の効果が期待できます。●本剤注入後、薬液が樹全体に移行するのに、若い木や樹勢の旺盛なものは1ヵ月、大径木や樹勢の弱った木などは約2ヵ月を要するので、本剤の注入はまづマツノマダラカミキリの発生する2ヶ月前までに行ってください。●本剤のまつのマツノザイセンチュウに対する効果持続期間は通常2年ですが、樹勢、樹齡、枝張り、周辺環境、気象条件などにより変動するので、再注入時期については林業関係機関、林業技術者などの指導を受けることが望ましいです。●本剤は樹脂流出に異常を呈しているまつや枝葉が変色したまつには治療効果がないので、注入時期を失ないようにしてください。【安全使用上の注意】●誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の指示を受けさせてください。●本剤は眼に対して刺激性があるので、注入の際は保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の指示を受けてください。●作業の際は保護眼鏡、農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣を着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔・うがいをしてください。●公園、街路などで使用する場合は、作業者以外の者、特に子供などの手の届かぬ位置に注入し、注入中は作業現場に近づかないように縄囲いや立て札を立てるなど配慮してください。【水産動物に関する注意】●水産動物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすおそれがありますが、この登録に係る使用方法では問題ありません。●散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器は必ず回収し、水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。【貯蔵上の注意】●火気や直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温場所に密栓して保管してください。●指定可燃物(可燃性液体類)に属するので火気には十分注意してください。

- 使用前にラベルをよく読んでください。
- ラベルに記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所に置かないでください。
- 使用後の空容器は圃場などに放置せず適切に処理してください。

販売  
シンジェンタ ジャパン株式会社  
プロフェッショナルソリューション事業本部  
東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX 21階  
TEL.03-6221-3802 FAX.03-6221-3899  
www.syngentalm.jp



## 取扱い

※この印刷物の記載内容は2024年3月現在のものです。24年3月作成(SYN-RVI-B-04R01-1k)